

心躍る組織運営グループ基本方針

専務理事 下徳 友樹

先代の青年たちが都城の地に青年会議所の灯をともして60年。私たちが今日を迎えることができるのは、幾度も降りかかった困難や苦境にも屈さず、英知と勇気と情熱をもって立ち向かい乗り越えてきた、先人たちから成る、洗練された組織運営の基盤によるものです。近年、パンデミックにより世界がニューノーマルな時代へと変わってきた中、組織運営も変化が起り得る未来を予測し、且つ柔軟に対応できる運営と管理をより確固たるものにする必要があります。

青年会議所運動の手法も変化を求められ、オンライン化により現地参加ができなかったメンバーに対しても機会を提供できる環境へと変化してきました。ですが、対面で開催できない弊害として、コミュニケーション不足による人間関係の希薄化も確実に現れています。このような問題にもしっかりと対応し、再びメンバー同士が密に連携する機会を増やすことで、青年会議所運動に参加しやすい組織運営を行います。会員減少が進む中でも、同じ志を持ち、力を合わせればより強大な力を生み出します。顔を合わせて語り、助け合うことで、運動の質が高まり、育まれ、そこで生まれるアイデアや気づき、共感が自己成長へと繋がります。そして新たに芽生えた向上心と自信が青年会議所の魅力をさらに飛躍させ、ともに心躍る未来へと邁進します。また、組織としてのガバナンス強化と社会的責任を満たすコンプライアンスを徹底し、様々なライフステージで活躍しているメンバーが、青年会議所の場に於いても、もっと活躍することのできる組織運営を構築していきます。

60周年という節目を迎えるにあたり、創始の精神と未来を見据えた変革の精神を受け継いだ私たちが、これからも英知と勇気と情熱を持って青年会議所運動に邁進し、メンバー自らの手でわくわくする未来を市民とともに描きながら、そこで広がる魅力の輪に次世代も心躍らし笑顔が溢れる都城へと輝かせていきましょう。